

4月19日 復活節第3主日

すべての国々へのメッセージ

ルカによる福音書 24章 35～48節

³⁵二人も、道で起こったことや、パンを裂いてくださったときにイエスだと分かった次第を話した。

³⁶ こういうことを話していると、イエス御自身が彼らの真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。³⁷ 彼らは恐れおののき、亡霊を見ているのだと思った。³⁸ そこで、イエスは言われた。「なぜ、うろたえているのか。どうして心に疑いを起こすのか。³⁹ わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしだ。触ってよく見なさい。亡霊には肉も骨もないが、あなたがたに見えるとおりに、わたしにはそれがある。」⁴⁰ こう言って、イエスは手と足をお見せになった。⁴¹ 彼らが喜びのあまりまだ信じられず、不思議がっているので、イエスは、「ここに何か食べ物があるか」と言われた。⁴² そこで、焼いた魚を一切れ差し出すと、⁴³ イエスはそれを取って、彼らの前で食べられた。

⁴⁴ イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」⁴⁵ そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、⁴⁶ 言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。⁴⁷ また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、⁴⁸ あなたがたはこれらのことの証人となる。」

他の朗読：使徒言行録 3:13～15, 17～19 詩編 4:2, 4, 7, 9 | ヨハネ 2:1～5

Lectio …読む

この朗読箇所は、二人の弟子がエマオへの道でイエスに出会い、エルサレムへ戻った直後の話です。この二人の弟子が興奮して事の次第を話していたまさにその時、イエスが彼らの目の前に現れたのです。

彼らは畏怖のあまり、どう考えていいのかわかりません。本当にイエスなののでしょうか、それとも亡霊なののでしょうか。イエスは彼らを忍耐強く導きます。まず、おそらく傷を示すためでしょう、イエスは自分の手と足を見るように言います。それから亡霊ではなく、本当にイエスであると分かるように、触ってみよう弟子たちを招きます。

弟子たちは喜びと不思議に満たされます。彼らは信じたいけれど、あまりにも話がうますぎるのではないかと、思っているようです。まだ疑いがあるのです。そのためイエスは、彼らの目の前で魚を一切れ食べて見せました。

そしてイエスは、私たち皆が望むことをしてください。イエスとその命について述べられている箇所を、一節一節丁寧に示し、聖書を理解できるように導くのです。

イエスにとって、ご自分の復活は、神とその民との継続した関係性の一部でしかなかったのです。それは人間の歴史の分岐点でした。イエスはご自分を信じる者に、命と信仰について教えたことは永遠に信頼できるものであることを証明したのです（ヘブライ7章25節）。イエスの復活は、この「神の救いの歴史」における素晴らしいクライマックスなのです。

Meditatio …黙想する

イエスは、弟子たちが本当にイエスが死から復活したことを受け入れることが出来るよう、どのよ

うに手助けしたのでしょうか。イエスは自分が現実であることを示すのに、非常に行動的でした。

イエスを信頼するのに、何が助けになるでしょう。イエスが生きていて、今日私たちの間におられる、というあなたの信仰を築いたものは何でしょうか。

イエスは弟子たちを「これらのことの証人」(48節)として描きます。彼らは目撃者なのです。今日私たちはどのような方法で証人になることができると思いますか。

Oratio …祈る

イエスの十字架の上の死と復活は私たちの罪が赦され、永遠の命を得るためである、ということは、信じられないくらい出来すぎた話です。しかし本当なのです！しばらくの間、神の救いの計画の不思議さについて神を賛美しましょう。もしあなたの中に疑いがあるなら、それを取り除いて下さるように神に願いましょう。

詩編4編は喜びについて語っていますが(8節)、苦しみが増すと、喜びはなくなってしまいます。人生が困難にあったときに感じた、霊的な喜びや平和を思い浮かべられますか。神の照らしを願い、今日この希望を必要としているかもしれない人々のために、神に祈りましょう。

Contemplatio …観想する

使徒言行録3章13～19節には、ペトロがユダヤ人たちに、何が起きて、何故イエスは死んだのかを正確に説明した様子が描かれています。ペトロは悔い改めて信じなさい、と語ります。ヨハネはこのメッセージを1ヨハネ2章1～5節で繰り返します。私たちの罪は、キリストによってのみ赦されるのです。イエスは私たちの弁護者であり、また罪を贖ってくださった方でもあると述べられています。イエスが私たちの弁護者として御父にとりなして下さるとは、何と素晴らしいことでしょう！